

鉄道沿線地域の公共交通のあり方に関する地域懇談会

令和7年8月27日
桐生市
交通ビジョン推進室

開催趣旨

- 桐生市を走る4つの鉄道のうち、「上毛電気鉄道」及び「わたらせ渓谷鐵道」のあり方について議論する「沿線地域交通リ・デザイン推進協議会」の中で取りまとめた基本方針の中で、両路線については全線鉄道として存続することとしました。
しかし、このことは、地域の価値の最大化を目指すためにこれらの鉄道線を活かすことが前提となっています。
- そのためには、鉄道事業者や行政だけでなく、沿線住民や他の公共交通機関、教育機関、企業等、市民総ぐるみでこの課題に向き合う必要があります。
そこで、鉄道沿線地域の公共交通のあり方について、住民と行政が共に真剣に考えるための機会として、本懇談会を開催します。

テーマ

鉄道を用了沿線地域ポテンシャルの向上について

- 鉄道が持つ多面的機能や価値を活用し、沿線地域の価値を最大化させるために、住民、交通事業者、行政等がそれぞれできることについて意見交換します。

桐生市交通ビジョン

- 「マイカーなしでも暮らせるエリアの多いまち」、「バスや電車、MAYUなど多彩な移動手段が選択できるまち」を目指す、桐生市の交通まちづくりの基本構想
⇒【基本理念】
「みんなで考え、みんなでつくる
彩りモビリティで つなぐ未来交通」
(移動に対する市民一人ひとりの意識の変容と主体的な行動を奨励する指針)



桐生市地域公共交通計画

- 桐生市交通ビジョンを基本構想とし、有効適切な交通施策の実施に向けた調査や分析を行い、取組の目的や内容をより具体的に提示するマスタープラン(法定計画)
⇒【基本方針】
 - ・市民総ぐるみによる交通変容への挑戦
 - ・既存公共交通の見直しと改善を図る施策の推進
 - ・持続可能な未来社会を見据えた施策の推進



鉄道のあり方について検討しているいまこそ、

市民総ぐるみで知恵や力を出し合い、総力を挙げてこれからの鉄道をつくる！